

## 津野氏の足跡を学ぶ

～歴史講演会を開催～

10月20日(木)、総合保健福祉センター里楽ホールで、高知県立高知城歴史博物館の横山和弘副館長を講師に「津野氏と姫野々城」津野氏の概要紹介をかねて」と題した講演会を開催しました。



平安末期から戦国時代までの約700年にわたり、津野山地域を支配した津野氏と、拠点となった姫野々城跡の概要が、長宗我部地検帳や姫野々城下図、城跡や土居跡からの出土品など、多彩な資料をまじえながら紹介されました。

姫野々城下からは、14世紀～15世紀頃のものと思われる出土品が多くあるなど、交易にも力を入れていた点は歴史愛好家の間でも知られていました。城下図から庶民の屋敷や町屋がなく、武家屋敷の密集した武装的集落の様相であったことが読み取れるという、新たな発見がありました。

また、高僧として著名な

義堂周信と絶海中津、中興の英主とされる津野之高など、文化面でも高い功績を遺した人物を一族から輩出した点から、当時類まれな文武兼備の武将として、津野氏が評価されていた点など、新たな情報をしっかりとメモするなど、約50名の参加者の皆さんは熱心に聴き入っていました。

なお、津野町郷土資料館では、津野氏や姫野々城跡の概要を紹介した資料を展示しておりますので、ぜひご来館ください。

(生涯学習課)

## 防災まめ知識

### 「津野町の南海トラフ巨大地震被害想定」

平成25年5月に高知県から発表された南海トラフ巨大地震における津野町の被害想定をおさらいしましょう。

南海トラフ巨大地震の発生確率は今後30年以内に70%程度とされています。

避難所への避難者は地震発生から1週間後をピークとして960人が想定されています。停電や水道の断水も想定されます。

町では、非常食や発電機など避難所での備蓄品の整備に努めています。

みなさんも災害に備え家庭内備蓄(最低でも3日分、できれば1週間分程度の備蓄)や、家族の集合場所等について話し合しましょう。(総務課 危機管理担当)

最大クラスの地震が発生した場合、津野町の想定震度は6弱から6強、揺れの長さは2分～2.5分

冬の18時に発生した想定(最大クラスの想定)		揺れによる建物被害(倒壊数)	建物倒壊による人的被害(死者数)
津野町	現状	1,000棟	70人
	対策後	60棟	若干名

※対策後とは、住宅の耐震改修や家具転倒防止を行った後のことです。

震度階級  
■ 6強  
■ 6弱



## 【平成29年1月開催!!】

### 新年体育始め行事 歩け走ろう運動について

毎年恒例となりました、新年の体育始め行事、「歩け走ろう運動」を開催いたします。新年の幕開けにご家族やご友人の皆さまと心地よい汗を流してみたいかでしょうか。

- 日時：平成29年1月2日(月) 午前8時30分～
- 場所：葉山(姫野々)三嶋神社境内に集合
- コース：三嶋神社から山崎までの往復3km
- 対象：元気に完歩または完走できる方
- 主催：津野町教育委員会
- お問い合わせ：津野町東津野B & G海洋センター (電話0889-62-3488)

